

事務事業名		吉浜漁港整備事業		<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画登載事業	<input checked="" type="checkbox"/> 合併建設計画登載事業
政策体系	政策名	05 豊かな市民生活を実現する産業の振興		事業期間	
	施策名	19 地域活力を担う水産業の振興			
	基本事業名	02 活力と潤いのある漁港・漁村づくり		<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始 年度～) <input checked="" type="checkbox"/> 期間限定複数年度 【計画期間】 平成22 年度～平成24 年度 ※全体計画欄の総投入量を記入	
根拠法令				予算科目 会計 01 款 06 項 03 目 03 事業 32	
所属	部課名	農林水産部 水産課		全体計画(※期間限定複数年度のみ) 総投入量 (千円) 事業費内訳 国庫支出金 150,000 都道府県支出金 地方債 その他 50,000 一般財源 事業費計(A) 200,000 人件費 正規職員従事人数 2 延べ業務時間 14,400 人件費計(B) 57,600 トータルコスト(A)+(B) 257,600	
	係名	漁港漁村係	電話 27-3111		
			内線 364		
事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述) ・吉浜漁港の船揚場を改良し、漁業活動の効率化、省力化を図る。 ・主な業務は、交付金(国・県)申請、積算、工事(請負)、監理、事業説明会、工事説明会等である。 ・事業費は、工事費、測量設計費、人件費等に支出される。国補助が4分の3、残り4分の1も交付税措置され、地方負担は0である。					

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標									
① 手段(主な活動) 前年度実績(前年度に行った主な活動) 平成23年度は、平成22年度(繰越明許分)の補助金(国・県)実績報告のみを実施。平成22年度において根固ブロックの製作を行ったが、震災による津波で全てを流失し、工事の進捗率は実質0%である。 今年度計画(今年度に計画している主な活動) 本事業は、これまで強い水産業づくり交付金を導入して事業を進めてきたが、震災による地盤沈下に伴い、当初の計画を見直さなければならないため、復興交付金事業に振り替えて、平成25年度から再着手する予定である。	⑤ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標) <table border="1"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ア 施工延長(船揚場)</td> <td>m</td> </tr> <tr> <td>イ 事業進捗率(事業費ベース)</td> <td>%</td> </tr> <tr> <td>ウ</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	名称	単位	ア 施工延長(船揚場)	m	イ 事業進捗率(事業費ベース)	%	ウ	
名称	単位								
ア 施工延長(船揚場)	m								
イ 事業進捗率(事業費ベース)	%								
ウ									
② 対象(誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等 ・漁港施設(防波堤、護岸、物揚場、船揚場、臨港道路等) ・漁港利用漁業者及び漁船	⑥ 対象指標(対象の大きさを表す指標) <table border="1"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>カ 施設延長(船揚場)</td> <td>m</td> </tr> <tr> <td>キ 漁協組合員</td> <td>人</td> </tr> <tr> <td>ク 利用漁船</td> <td>隻</td> </tr> </tbody> </table>	名称	単位	カ 施設延長(船揚場)	m	キ 漁協組合員	人	ク 利用漁船	隻
名称	単位								
カ 施設延長(船揚場)	m								
キ 漁協組合員	人								
ク 利用漁船	隻								
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) ・漁港外郭施設を整備することにより、港内静穏度が向上する。 ・波浪時の漁船の避難等が減少する。 ・漁業者の作業効率と就労環境の改善が図られる。	⑦ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標) <table border="1"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>サ 安全係船岸充足率</td> <td>%</td> </tr> <tr> <td>シ 漁港用地充足率</td> <td>%</td> </tr> <tr> <td>ス</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	名称	単位	サ 安全係船岸充足率	%	シ 漁港用地充足率	%	ス	
名称	単位								
サ 安全係船岸充足率	%								
シ 漁港用地充足率	%								
ス									
④ 結果(基本事業の意図:上位の基本事業にどのように貢献するのか) 漁港機能が充実する。									

(2) 総事業費・指標等の推移																																																																																																																																																																										
<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">事業費内訳</th> <th rowspan="2">単位</th> <th colspan="7">年度</th> </tr> <tr> <th>23年度(実績)</th> <th>24年度(目標)</th> <th>25年度(目標)</th> <th>26年度(目標)</th> <th>27年度(目標)</th> <th>28年度(目標)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>国庫支出金</td> <td>千円</td> <td>1,166</td> <td></td> <td>75,000</td> <td>75,000</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>都道府県支出金</td> <td>千円</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>地方債</td> <td>千円</td> <td>1,107</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>千円</td> <td></td> <td></td> <td>25,000</td> <td>25,000</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>一般財源</td> <td>千円</td> <td>60</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>事業費計(A)</td> <td>千円</td> <td>2,333</td> <td>0</td> <td>100,000</td> <td>100,000</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>人件費</td> <td>人</td> <td>1</td> <td></td> <td>2</td> <td>2</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>正規職員従事人数</td> <td>時間</td> <td>20</td> <td></td> <td>720</td> <td>720</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>延べ業務時間</td> <td>千円</td> <td>80</td> <td>0</td> <td>2,880</td> <td>2,880</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>人件費計(B)</td> <td>千円</td> <td>2,413</td> <td>0</td> <td>102,880</td> <td>102,880</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>トータルコスト(A)+(B)</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="3">⑤活動指標</td> <td>ア</td> <td>m</td> <td>0</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>イ</td> <td>%</td> <td>0</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>ウ</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="3">⑥対象指標</td> <td>カ</td> <td>m</td> <td>被災未把握</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>キ</td> <td>人</td> <td>被災未把握</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>ク</td> <td>隻</td> <td>被災未把握</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="3">⑦成果指標</td> <td>サ</td> <td>%</td> <td>被災未把握</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>シ</td> <td>%</td> <td>被災未把握</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>ス</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		事業費内訳	単位	年度							23年度(実績)	24年度(目標)	25年度(目標)	26年度(目標)	27年度(目標)	28年度(目標)	国庫支出金	千円	1,166		75,000	75,000			都道府県支出金	千円							地方債	千円	1,107						その他	千円			25,000	25,000			一般財源	千円	60						事業費計(A)	千円	2,333	0	100,000	100,000	0	0	人件費	人	1		2	2			正規職員従事人数	時間	20		720	720			延べ業務時間	千円	80	0	2,880	2,880	0	0	人件費計(B)	千円	2,413	0	102,880	102,880	0	0	トータルコスト(A)+(B)								⑤活動指標	ア	m	0					イ	%	0					ウ							⑥対象指標	カ	m	被災未把握					キ	人	被災未把握					ク	隻	被災未把握					⑦成果指標	サ	%	被災未把握					シ	%	被災未把握					ス						
事業費内訳	単位			年度																																																																																																																																																																						
		23年度(実績)	24年度(目標)	25年度(目標)	26年度(目標)	27年度(目標)	28年度(目標)																																																																																																																																																																			
国庫支出金	千円	1,166		75,000	75,000																																																																																																																																																																					
都道府県支出金	千円																																																																																																																																																																									
地方債	千円	1,107																																																																																																																																																																								
その他	千円			25,000	25,000																																																																																																																																																																					
一般財源	千円	60																																																																																																																																																																								
事業費計(A)	千円	2,333	0	100,000	100,000	0	0																																																																																																																																																																			
人件費	人	1		2	2																																																																																																																																																																					
正規職員従事人数	時間	20		720	720																																																																																																																																																																					
延べ業務時間	千円	80	0	2,880	2,880	0	0																																																																																																																																																																			
人件費計(B)	千円	2,413	0	102,880	102,880	0	0																																																																																																																																																																			
トータルコスト(A)+(B)																																																																																																																																																																										
⑤活動指標	ア	m	0																																																																																																																																																																							
	イ	%	0																																																																																																																																																																							
	ウ																																																																																																																																																																									
⑥対象指標	カ	m	被災未把握																																																																																																																																																																							
	キ	人	被災未把握																																																																																																																																																																							
	ク	隻	被災未把握																																																																																																																																																																							
⑦成果指標	サ	%	被災未把握																																																																																																																																																																							
	シ	%	被災未把握																																																																																																																																																																							
	ス																																																																																																																																																																									

事務事業ID	1370	事務事業名	吉浜漁港整備事業
--------	------	-------	----------

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等	
① この事務事業を開始したきっかけは何か？いつ頃どんな経緯で開始されたのか？	吉浜漁港は、既設のままでは、波浪時に防波堤を越波するため、港内の静穏度が低く、また、物揚場や船揚場、作業用地等の施設が狭く、作業に支障をきたしていることから、平成22年度に事業を開始した。
② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)は、開始時期あるいは前期基本計画策定時と比べてどう変わったのか？	漁業就業者の高齢化が進み、新規参加者が少なく、漁港利用者数が減少している。 平成22年度に事業着手し、根固ブロックの製作を行ったが、震災による津波で全てを流し、工事の進捗率は実質0%である。震災による地盤沈下に伴い、当初の計画を見直さなければならないため、復興交付金事業に振り替えて、平成25年度から再着手する予定である。
③ この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか？	地元漁協や漁港利用者から早期の整備を要望されている。

2 評価の部(SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由】⇒ 漁港施設の整備は、漁港機能の充実に直接結びつく。 この事務事業の目的は当市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？
	② 公共関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由】⇒ 市の基幹産業である水産業の基盤(市管理漁港)を整備するものであり、公共事業として市が実施すべき事業である。 なぜこの事業を当市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？
	③ 対象・意図の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由】⇒ 対象、意図とも適切であり、見直し余地がない。 対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？
有効性 評価	④ 成果の向上余地	<input type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】⇒ 事業費を増やすことにより、事業計画期間も短縮され、早期の成果向上が期待できるが、震災に伴う地盤沈下の影響で当該事業は休止中である。 成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？
	⑤ 廃止・休止の成果への影響	<input checked="" type="checkbox"/> 影響無 ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 <input type="checkbox"/> 影響有 ⇒【その内容】⇒ 被災に伴い本事業は休止とし、復興交付金事業に振り替えて実施予定である。 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？
	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がある ⇒【理由】⇒ (具体的な手段, 事務事業) 東日本大震災に関連した復興支援事業で本事業が実施可能となった。 <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】⇒ <input type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】⇒ 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？
効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 <input type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】⇒ 被災に伴い本事業は休止とし、復興交付金事業に振り替えて実施予定である。 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 <input type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】⇒ 被災に伴い本事業は休止とし、復興交付金事業に振り替えて実施予定である。 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど)
公平性 評価	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】⇒ 漁港施設は、主として漁業者が利用しているが、多面的な機能を有し、広く一般市民も利用する公共的な施設であることから、受益者負担にはなじまないものである。 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN)

<p>(1) 1次評価者としての評価結果 (2枚目と整合を図ること)</p> <table border="1"> <tr> <td>① 目的妥当性</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 適切</td> <td><input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>② 有効性</td> <td><input type="checkbox"/> 適切</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>③ 効率性</td> <td><input type="checkbox"/> 適切</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>④ 公平性</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 適切</td> <td><input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> </table>	① 目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	② 有効性	<input type="checkbox"/> 適切	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり	③ 効率性	<input type="checkbox"/> 適切	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり	④ 公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	<p>(2) 全体総括(振り返り、反省点)</p> <p>平成22年度の施工途中で被災し事業繰越となったため、平成23年度は、平成22年度(繰越明許分)の補助金(国・県)実績報告のみを実施した。 平成23、24年度は事業を休止し、強い水産業づくり交付金事業から復興交付金事業に振り替えて事業を再開する。</p>									
① 目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり																				
② 有効性	<input type="checkbox"/> 適切	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり																				
③ 効率性	<input type="checkbox"/> 適切	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり																				
④ 公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり																				
<p>(3) 次年度の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 (ただし、廃止・休止・現状維持は重複不可)</p> <p><input type="checkbox"/> 廃止 <input checked="" type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統合・連携 <input type="checkbox"/> 現状維持 事業のやり方改善 (<input type="checkbox"/> 有効性改善 <input type="checkbox"/> 効率性改善 <input type="checkbox"/> 公平性改善)</p> <p>(上記方向性に対する具体的な内容)</p> <p>既設の施設全体が地盤沈下しているが、改良を伴う復旧は災害復旧事業(負担法)では実施できないため、平成23、24年度は事業を休止し、復興交付金事業を導入して、平成25年度に再着手する予定である。</p>	<p>(4) 改革・改善による期待成果</p> <p>左記(3)の改革改善案を実施した場合に期待できる成果について該当欄に「●」を記入する。 (廃止・休止の場合は記入不要)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </tbody> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持			×	低下		×	×
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持			×																		
	低下		×	×																		
<p>(5) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策又は特記事項等</p> <p>特になし。</p>																						

(職名) ※原則として施策の主管課長 (氏名)

4 事務事業の2次評価結果

2次評価者	農林水産部水産課長	
-------	-----------	--

<p>(1) 1次評価結果の客観性と出来具合</p> <p>①記述水準(1次評価の記述内容を読んだ段階で選択)</p> <p><input type="checkbox"/> 記述不足でわかりにくい <input type="checkbox"/> 一部記述不足のところがある <input checked="" type="checkbox"/> 記述は十分なされている</p> <p>②評価の客観性水準(2次評価を行った後に総合的に判断して選択)</p> <p><input type="checkbox"/> 客観性を欠いており評価が偏っている(事務事業の問題点、課題が認識されてない) <input type="checkbox"/> 一部に客観性を欠いたところがある <input checked="" type="checkbox"/> 客観的な評価となっている(事務事業の問題点、課題が認識されている)</p>																						
<p>(2) 2次評価者としての評価結果</p> <table border="1"> <tr> <td>① 目的妥当性</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 適切</td> <td><input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>② 有効性</td> <td><input type="checkbox"/> 適切</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>③ 効率性</td> <td><input type="checkbox"/> 適切</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>④ 公平性</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 適切</td> <td><input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> </table>	① 目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	② 有効性	<input type="checkbox"/> 適切	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり	③ 効率性	<input type="checkbox"/> 適切	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり	④ 公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	<p>(3) 評価結果の根拠と理由</p> <p>平成22年度の施工途中で被災し事業繰越となったため、平成23年度は、平成22年度(繰越明許分)の補助金(国・県)実績報告のみを実施した。 施設全体が地盤沈下しており、災害復旧事業で既設施設を復旧させた後でなければ本事業を実施することが難しい状況である。</p>									
① 目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり																				
② 有効性	<input type="checkbox"/> 適切	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり																				
③ 効率性	<input type="checkbox"/> 適切	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり																				
④ 公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり																				
<p>(4) 次年度の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 (ただし、廃止・休止・現状維持は重複不可)</p> <p><input type="checkbox"/> 廃止 <input checked="" type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統合・連携 <input type="checkbox"/> 現状維持 事業のやり方改善 (<input type="checkbox"/> 有効性改善 <input type="checkbox"/> 効率性改善 <input type="checkbox"/> 公平性改善)</p> <p>(上記方向性に対する具体的な内容)</p> <p>既設の施設全体が地盤沈下しており、災害復旧事業で既設施設を復旧させた後に本事業を実施することとし、事業休止とする。</p>	<p>(5) 改革・改善による期待成果</p> <p>左記(4)により期待できる成果について該当欄に「●」を記入する。また、1次評価と内容が異なる場合には、1次評価の結果も「○」で記入する。 (廃止・休止の場合は記入不要)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </tbody> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持			×	低下		×	×
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持			×																		
	低下		×	×																		

5 最終評価結果

(1) 行政経営推進会議等での指摘事項
